

4年生国語科より 紙芝居風読書案内

下に下にスクロールしてってください。

「青空文庫」を活用しよう

「青空文庫」とは著作権が切れた作品がインターネット上に公開されているもので、ボランティアによる入力・校閲によって運営されています。絶版になってしまっている作品や雑誌に掲載されていて今はなかなか手に入らない作品なども公開されています。その公開の理念なども含めて読んでみるとおもしろいと思います。



インターネットの電子図書館、青空文庫へようこそ。

[「青空文庫収録ファイルを用いた朗読配信をお考えのみなさまへ」](#)

<https://www.aozora.gr.jp/>



初めての方はまず「[青空文庫早わかり](#)」をご覧ください。

ファイル利用をお考えの方は、[こちら](#)をご一読ください。

ブラウザでは読みにくいと思った方は、「[青空文庫のXHTML、TEXTの読み方](#)」をどうぞ。

「誤植かな?」とお気づきの方は、[こちら](#)を参考に報告いただくと助かります。

例えば「ア行」の作家で検索すると

[トップ](#) [インデックス](#) [作家リスト](#)

公開中 作家リスト:ア行

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

ア

1. [アーヴィングワシントン](#) (公開中:5)
2. [アークムフレデリック](#) (公開中:1)
3. [愛知 敬一](#) (公開中:1)
4. [会津 八一](#) (公開中:12)
5. [アインシュタインアルベルト](#) (公開中:1)
6. [響庭 篁村](#) (公開中:3)
7. [青木 栄瞳](#) (公開中:1) *著作権存続*
8. [青木 正児](#) (公開中:1)
9. [青空文庫](#) (公開中:1) *著作権存続*
10. [青野 季吉](#) (公開中:1)
11. [青柳 喜兵衛](#) (公開中:1)
12. [秋田 雨雀](#) (公開中:1)
13. [秋田 滋](#) (公開中:7)
14. [秋月 種樹](#) (公開中:2)
15. [秋野 平](#) (公開中:1) *著作権存続*
16. [芥川 紗織](#) (公開中:2) (→[間所 紗織](#))
17. [芥川 龍之介](#) (公開中:376)
18. [浅井 洌](#) (公開中:2)
19. [朝倉 克彦](#) (公開中:1) *著作権存続*
20. [浅沼 稻次郎](#) (公開中:3)
21. [浅野 正恭](#) (公開中:1)
22. [浅野 和三郎](#) (公開中:2)
23. [東 健而](#) (公開中:1)
24. [阿部 次郎](#) (公開中:6)
25. [阿部 徳蔵](#) (公開中:1)
26. [安倍 能成](#) (公開中:1)
27. [天川 恵三郎](#) (公開中:1)
28. [アミーゴス エドモンド・デ](#) (公開中:1)

教科書に掲載されている
「羅生門」の作者芥川龍之介も。

公開中の作品

1. [愛読書の印象](#) (新字旧仮名、作品ID:4872)
2. [秋](#) (新字旧仮名、作品ID:16)
3. [芥川竜之介歌集](#) (新字旧仮名、作品ID:178)
4. [アグニの神](#) (新字新仮名、作品ID:43014)
5. [アグニの神](#) (新字旧仮名、作品ID:15)
6. [悪魔](#) (新字旧仮名、作品ID:3804)
7. [浅草公園](#) 或シナリオ(新字新仮名、作品ID:21)
8. [兄貴のような心持](#) ——菊池寛氏の印象——(新字新仮名、作品ID:43361)
9. [あの頃の自分の事](#) (新字旧仮名、作品ID:13)
10. [あばばば](#) (新字旧仮名、作品ID:14)
11. [鴉片](#) (新字旧仮名、作品ID:1138)
12. [或阿呆の一生](#) (新字旧仮名、作品ID:19)
13. [或敵打の話](#) (新字新仮名、作品ID:73)
14. [或旧友へ送る手記](#) (新字旧仮名、作品ID:20)
15. [或社会主義者](#) (新字旧仮名、作品ID:3827)
16. [或日の大石内蔵助](#) (新字新仮名、作品ID:122)

芥川龍之介であれば376の作品が公開されています。

旧仮名遣いで書かれている作品を読めば、自然と古典の仮名遣いの勉強もできます。

「青空朗読」も活用してみよう

「青空文庫」とおなじように著作権の切れた作品をボランティアの方が朗読した作品が公開されています。旧仮名遣いの文字だけを読むのが難しい場合は朗読を聴いてみるのもいいと思います。寝ながら聴く人も多いようです。



青空朗読

<http://aozoraroudoku.jp/>

朗読を聴く

青空朗読について

朗読を活用する

朗読に参加する

ホーム

さあ、朗読を聴こう。

童話、小説、随筆・・・

あなたに届く作品にきっと出会えます。

朗読作品（検索）

朗読作品をカテゴリーの中から探して、お好きなものを聴くことができます。

現在掲載数約 **590** タイトル

作 品

作 家

朗読担当者

ジャンル

時 間

毎日時間（10時～など）やタイミング（昼食前・就寝前など）を決めて読む習慣をつけましょう。誰か1人作家を決めてその人の作品の「全部読み」をしていくのも楽しいですよ。また、芥川龍之介は「内田百閒」や「久米正雄」など同時代の作家のことを書いた文章も残しています。それらの人の名前をたどって次々に読み、国語便覧を見てみると知り合いがいっぱい載っているような感覚になってさらに楽しめます。文学だけでなく歴史にも関わる勉強が自然とできます。

「本を読む」ということについて

「『知の技法』入門」より

問題を克服する世界への小さな入り口が本の数だけある。それが本を読むということの原点ですよね。

哲学者 小林康夫

「本を読む」ということについて

「『知の技法』入門」より

本は情報ではなく、何か一つの世界を示しているんでしょうね。だから読書というのは、世界を探検するみたいな感じになる。

社会学者 大澤真幸

「たった1人の本を全て読んでみよう」

「『知の技法』入門」より

1人の人間がどのくらいのことができるかその孤独の恐ろしさを本当に知るべき。

人間が一生を通じてどれぐらいの世界を構築したかというのをとことん味わってみなさいと言いたい。それがあってはじめて、「人間の恐ろしさ」というものが真にわかるだろう。恐ろしさがわからないと、すべてがただの「情報」になってしまふんです。

小林康夫

本を読むことは「答え」を求めることが
目的ではない。

「不味いのはわかっている。どう不味いのかを知りたいのだ。」

写真家 吉田ナギ

何をすればいいのかが分かりにくい時だからこそ、
簡単に結果が見えないことに挑戦する時間をもってください。